

はじめに

2020年は、年始めから新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、4月には「緊急事態宣言」が発令されました。先行きの見えない不安を抱く1年となりましたが、市では、「感染拡大防止と社会経済活動の両立」に向け、さまざまな取り組みを行いました。

2020年を振り返って

1月～3月

- 成人式・田沼意次マラソン 新型コロナウイルス感染症の拡大により、市のイベント開催にも影響が出始めました。
- 市ホームページリニューアル・市公式LINE運用開始 コロナ情報をはじめ、重要なお知らせを効果的に発信する体制を整備しました。
- （仮称）牧之原IC北側土地区画整理事業に関する業務協定を締結 市重点プロジェクトの高台開発が大きく前進しました。
- 市公式スローガンが「RIDE ON MAKINOHARA」に決定



市民会議や皆さんからの投票を経て決定。このスローガンを旗印に、本市の魅力を市内外に届ける取り組みを進めています。

【新型コロナウイルス感染症】 感染拡大により、3月3日～19日、4月9日～5月17日の間、市内小中学校を一斉休業するなど、学校生活にも大きな影響を及ぼしました。

●茶業への支援策 「静岡牧之原茶献上茶謹製

4月～6月

- 静波海岸マリンスポーツテーション運用開始 多目的トイレやシャワー、更衣室を備え、多くの皆さんに利用されています。

- 今夏の海水浴場開設を断念 不特定多数の行楽客に対しても感染防止対策を徹底することで、海の事故に対する安全

- プレミアム商品券事業 経済対策として、20%のプレミアム率をつけた総額3億6千万円分の商品券を発売。約2カ月で完売し、市内経済活性化につなげました。



はじめに

2020年は、年始めから新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、4月には「緊急事態宣言」が発令されました。先行きの見えない不安を抱く1年となりましたが、市では、「感染拡大防止と社会経済活動の両立」に向け、さまざまな取り組みを行いました。

- 7月豪雨で甚大な被害を受けた友好交流都市・熊本県人吉市に職員を派遣
- 7月7日の第1陣を皮切りに第3陣まで派遣し、主に支援物資の集積所の立ち上げから運営までを支援しました。
- 産地生産基盤パワーアップ事業 市内2カ所に、茶集出荷貯蔵施設および荒茶加工施設の建設が始まりました。
- USAサーフィンとウェブ会議 東京五輪が2021年に延期になったことから、米国サーフィンチームと事前合宿などの方針について確認し合いました。

10月～12月

- GIGAスクール構想 応じて、市民の皆さんに冷静な対応と拡大防止に向けたメッセージを発信しています。
- GIGAスクール構想 教育環境の整備に向け、ネットワークの整備や端末の購入などを進めます。
- 公立保育園等民営化の推進 公設民営で運営している静波保育園を令和4年4月から民営化するため、公立保育所審査。答申を受け、現在運営を委託している法人への移管会議

- 橋幸夫さんが来市 広大な茶園の中で静岡牧之原茶を味わう様子などを収録。
- 田沼意次候銅像募金が目標金額を達成 「ユーチューブ」で公開されました。
- 田沼意次候銅像募金が目標金額を達成 生誕300年記念事業実行委員会が主体となり、銅像建立を目指した募金が、目標金額を達成しました。
- 学校再編計画 市民意見交換会 学校再編計画策定委員会が、素案策定にあたり、市民意見

- おわりに――2021年の展望と期待 「サーフスタジアムジャパン株式会社」が建設中の「静波サーフスタジアム」は、来年春の開業に向けて準備を進めています。この施設が、市の目標す沿岸部活性化やオリジナルクリエイションの創出に大きく寄与することを期待しています。
- 令和3年4月のオープンを目指し、「ミルキーウェイエスクエア」(波津区)内に図書交流館「いこっと」の整備を進めています。図書を通じた交流やにぎわい空間の創出を図ります。

- 3月に、要配慮者用放射線防護施設、地頭方原子力防災センター「ジーボ」が完成しました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、迅速な整備を進めます。



- 新型コロナウイルス感染症 8月25日、本市で初めての感染者を確認。以降、状況に

- 学校再編計画 市民意見交換会 学校再編計画策定委員会が、素案策定にあたり、市民意見

- 3月に、要配慮者用放射線防護施設、地頭方原子力防災センター「ジーボ」が完成しました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、迅速な整備を進めます。

- 最後になりますが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな事業が中止や延期を余儀なくされました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、迅速な整備を進めます。

- 3月に、要配慮者用放射線防護施設、地頭方原子力防災センター「ジーボ」が完成しました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、迅速な整備を進めます。

- 最後になりますが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな事業が中止や延期を余儀なくされました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、迅速な整備を進めます。

- 最後になりますが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな事業が中止や延期を余儀なくされました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るために、